

5 さまざまな取り組み

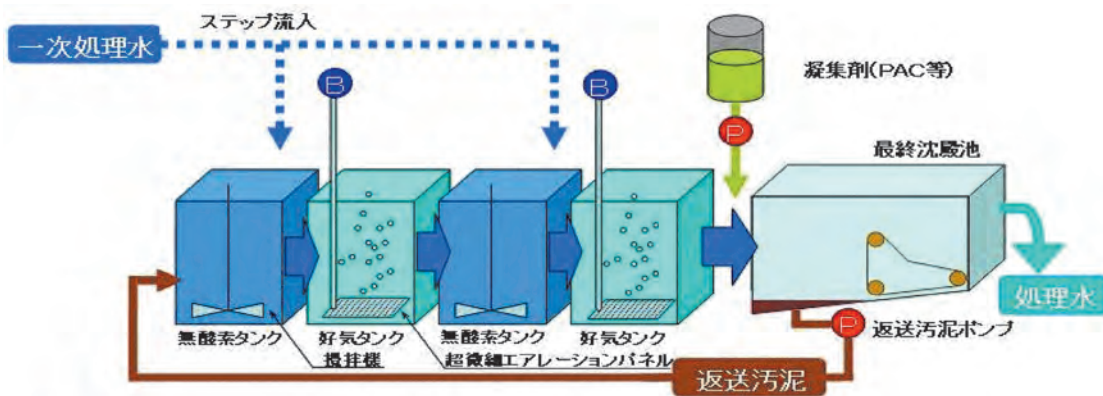
5-1 更なる水質の保全・向上

(1) 高度処理の推進

高度処理は、水道水源の水質保全や閉鎖性水域の富栄養化防止等を目的として、通常行われている標準的な下水処理よりも有機物を高度に除去したり、標準的な下水処理では十分に除去できない窒素やリンを除去したりするものである。

京都府においては、洛西浄化センター、洛南浄化センター、南丹浄化センター及び木津川上流浄化センターで、市町村においては、京都市及び宇治市の処理場で高度処理を実施している。農業集落排水や浄化槽についても、良好な水環境の保全のため、高度処理を導入しているものがある。

窒素及びリンを除去できる高度処理法（ステップ流入式多段硝化脱窒法）の模式図



(2) 合流式下水道の改善

合流式下水道については、降雨時にし尿を含む未処理下水が放流されることによる水質汚濁が問題となっており、その改善が課題になっている。

福知山市では、平成17年度から旧市街地の合流式下水道の改善に取り組み、平成23年8月に供用開始した。この事業は、由良川の水質を改善するため、降雨初期における汚れが著しい雨水や汚水を一時的に貯留する施設、細かいゴミを取り除くスクリーン等を整備し、放流負荷量を分流式下水道並みに軽減するものである。

